

政策	41 医療体制の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	身近な医療から救急医療まで様々な段階の医療を受けられる環境が整っている。 国民健康保険制度や後期高齢者医療制度の健全な運営が図られている。						
成果指標	地域医療についての市民満足度...5年間(平成25年度～平成29年度)で60% 救急車が病院に受入照会をした時に、1回目の照会で受入した割合(産科・周産期、小児を除く重症以上傷病者)...5年間(平成25年度～平成29年度)で100%(現状値72.9%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定					60.00
		実績					
	成果指標2 [%]	予定	79.20	72.90	72.90	100.00	100.00
		実績	71.90	71.90			
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	22,733,594	26,514,443	0	0	0	
	実績	21,722,924	26,432,084	0	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す姿である「健康で生きがいを持てるまちづくり」を進める上で、医療体制の充実を図るための本基本施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	市民満足度の調査は平成28年度に実施予定であるが、下位単位施策の目標である国保税収納率の向上や医療福祉モールへの医療機関の誘致等により成果は上がってきている。					
	課題	とちぎメディカルセンターの施設整備等に合わせて救急医療体制の再編を図っていくことから、事業の早期完了が必要となる。					
	取組方針	救急医療体制の再編や社会保険の健全運営、県や大学病院等とも連携した医師の確保により、医療体制の充実を図っていく。					
外部評価	市民が安心して医療を受けられる体制づくりはとても重要であることから、引き続き成果指標の向上に努めていただきたい。 とちぎメディカルセンターしもつがの開院が間近に迫っている中、医師の確保は極めて重要である。特に小児科および産婦人科診療と救急医療については、市民の期待が大きいことから、県や大学病院等と連携を密にし、医師の確保に努められたい。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	4101	地域医療の充実				2,532,577	100
	4102	救急医療体制の充実				152,684	100
	4103	社会保険安定運営				23,746,823	90